

プロジェクト名

Kyoritsu Blue Project ～大学で育てる藍と地域のつながり～

プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、「大学で育てる藍と地域のつながり」をテーマに、学生が地域の方々や大学関係者と協力しながら、本館屋上で藍を栽培し、収穫した藍を活用した染色体験や作品制作に取り組むことを目的とする。
藍は古くから日本人の暮らしに寄り添い、「ジャパン・ブルー」として世界に知られる日本文化の象徴である。
また、神田地域では地域団体「神田藍の会」が藍を通じたまちづくり活動を展開しており、本プロジェクトはそうした地域資源を活用した地域連携活動の一環として実施する。
活動を通じて、学生が日本の伝統文化や自然素材への理解を深めるとともに、企画力、発信力、コミュニケーション力を養い、地域との交流を通じた実践的な学びの機会を創出することを目指す。
また、本館屋上を活用した継続的な活動を通じて、大学と地域をつなぐ新たな交流の場を形成するとともに、活動成果を学内外へ発信することで、社会連携活動の活性化を図る。

・概要
「育てる」「染める」「展示する」を体験する地域連携プロジェクト
神田藍の会の協力のもと、本館屋上で藍を栽培し、収穫した藍を活用して藍染体験や作品制作を行う。
参加学生は、藍の栽培・管理、収穫、染色、作品制作に取り組み、制作した藍染ハンカチやスカーフ等を学内展示やイベント等で発表する。
活動を通して、
・日本の伝統文化である藍染への理解を深める
・地域の方々との交流を行う
・ものづくりの楽しさを体験する
・仲間と協力しながら一つのプロジェクトを作り上げる ことを目指す。
完成した作品や活動成果については、共立マルシェや学内展示等を通じて発信し、地域と大学をつなぐ活動として展開する。

募集人数

10

名程度を上限

活動スケジュール

6月下旬～7月上旬：【参加学生募集】Stand UP!プロジェクトメンバー募集
7月上旬：キックオフ・打合せ、活動内容説明、役割分担
7月：藍の栽培・管理、水やり、草取り等
7月下旬：第1回収穫、藍の収穫体験
8月：染色体験①たたき染め、生葉染め等（神田藍の会と連携）
8月下旬：展示企画検討、展示テーマ・作品内容の検討、ハンカチ・スカーフ制作計画
9月：第2回収穫、藍の収穫体験
9月下旬：染色体験②藍染ハンカチ・スカーフ等の作品制作
10月：第3回収穫（予定）藍の収穫体験
10月10日、11日：共立マルシェ活動紹介パネル展示、作品展示、活動報告
11月～12月：学内展示2号館等で作品・活動成果を展示
1月：活動報告会、振り返り・成果共有
2月：次年度計画検討、継続実施に向けた検討

目的とする成果（効果・目標）

1. 主体的な学びの促進
藍の栽培から収穫、染色、作品制作、展示までの一連のプロセスを自ら体験することで、企画力・実践力・協働力を養うとともに、ものづくりの楽しさや達成感を得る機会を創出する。
2. 地域連携活動の推進
神田藍の会との協働を通じて、地域団体と大学との継続的な関係構築を図るとともに、地域資源を活用した特色ある社会連携活動を推進する。
3. サステナブルなものづくりへの理解促進
天然素材である藍を活用した活動を通じて、環境や資源循環への関心を高めるとともに、持続可能な社会や伝統文化について学ぶ機会を提供する。
4. 作品制作および成果発信の実践
収穫した藍を活用してハンカチやスカーフ等の作品を制作し、共立マルシェや学内展示において活動成果を発信することで、企画から発表までの実践的な学びを経験する機会を創出する。
5. 大学の魅力発信
活動成果を共立マルシェ、学内展示、大学ホームページ、SNS等で発信することで、本学の特色ある地域連携活動および学生主体の取組として学内外へ広く周知する。

自由記述

学部・学科不問！
こんな方におすすめです！
・植物を育てることが好きな方
・藍（あい）や日本の伝統文化に興味がある方
・染色体験やものづくりに挑戦してみたい方
・地域の方々と交流してみたい方
・新しいことにチャレンジしたい方
本館屋上で藍を育て、収穫した藍を使って藍染ハンカチやスカーフづくり文化を発信するプロジェクトです。
藍の栽培から収穫、染色、作品制作までを体験し、完成した作品や活動成果は共立マルシェや学内展示等で発信します。
活動を通して、日本の伝統文化や地域とのつながりを学ぶだけでなく、企画力・発信力・コミュニケーション力など、社会で役立つ力を身につけることができます。
地域とのつながりと、自分自身の成長を一緒に育ててみませんか？